

## 原発関連施設に納入された神戸製鋼製品の検査などを求める緊急要請

神戸製鋼所（神戸製鋼）が、製品の品質管理データを改ざんしていた問題が明らかになった。神戸製鋼の製品は、原発やウラン濃縮工場など原発関連施設で長年にわたって広範に使用されていることから、私たちはこの問題を深く憂慮するとともに、原発の安全性に対する信頼性が揺らいでいると感じている。

また、神戸製鋼や日本原燃が原子力規制委員会への報告を怠ったことも明るみにでており、神戸製鋼や原発・核燃料サイクル関連会社の対応についてもより公開性と透明性を求める必要がある。

このような状況を踏まえ、私たちは本日、以下の3点を原子力規制委員会に実施するよう強く求める。

1. 原子力発電を所有する電力会社と核燃料サイクル関連に関わる全社に対し、神戸製鋼の銅、鉄鋼、アルミ製品の原発および核燃料サイクル関連設備への供給を直ちに停止する。
2. すでに納入されている神戸製鋼製品についての状況と検査結果のすべてを公開するとともに、独立した第三者によって品質管理・品質保証の監査を行う。
3. 現在稼働中の原発については速やかに停止し、再稼働準備中の原発については再稼働させず、再稼働適合審査中および審査開始が近い原発については、審査を中断し、包括的で確認可能な透明性のある検査を行う。

2017年10月29日  
脱原発をめざす首長会議